



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月10日

上場取引所 東

上場会社名 カッパ・クリエイトホールディングス株式会社
 コード番号 7421 URL <http://www.kappa-create.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 藤尾 益雄
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 小林 元樹

TEL 048-650-5100

四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	43,360	△12.9	780	256.3	905	354.8	△1,181	—
26年2月期第2四半期	49,767	1.3	218	△89.7	199	△90.4	△2,943	—

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 △1,125百万円 (—%) 26年2月期第2四半期 △2,764百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△29.53	—
26年2月期第2四半期	△74.73	—

(注)当社は、平成26年3月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	48,841	15,257	31.1
26年2月期	49,651	16,643	32.8

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 15,194百万円 26年2月期 16,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,600	—	830	—	1,030	—	△1,230	—	△30.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注)今期は決算期の変更(2月28日を3月31日)に伴い、平成26年3月1日から平成27年3月31日までの13ヶ月の変則決算となるため、対前年増減比率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)当第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	46,637,300 株	26年2月期	46,637,300 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	6,558,122 株	26年2月期	6,633,750 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	40,028,710 株	26年2月期2Q	39,391,490 株

(注)当社は、平成26年3月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要とその反動があったものの、緩やかな回復の動きがみられております。しかしながら、7月及び8月の台風や豪雨の悪天候による個人消費の足踏みや原材料価格の高騰による物価上昇の懸念など依然として先行きは不透明な状況にあり、消費マインドは持ち直しのテンポが緩やかになっております。

当外食業界におきましては、一部にデフレ脱却感や個人消費に回復の兆しが見られたものの、業界内における顧客確保の企業間競争の激化や原材料価格の高騰など不安定な要素も抱え、引き続き経営環境は厳しさを増しております。

このような環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は433億60百万円(前年同四半期比12.9%減)、営業利益は7億80百万円(前年同四半期比256.3%増)、経常利益は9億5百万円(前年同四半期比354.8%増)、四半期純損失は11億81百万円(前年同四半期は四半期純損失29億43百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

〈回転寿司事業〉

回転寿司事業におきましては、3月以降からお客様の満足度を高めるべく、商品アイテムの見直しと品質向上をスピード感をもってすすめてまいりました。商品アイテムについては、炙り寿司やロール寿司をはじめ約40品目をあらたに導入し、「極み特選一品」といった、194円(税込)商品の充実も図っております。また、常にお客様に最良のものをご提供できるように、売れ筋商品のまぐろなどを鮮度向上のため、自社工場加工から店内加工に切り替えました。舍利についても、炊飯から酢合わせまでの店舗オペレーションを改善し、「おいしい舍利」にこだわっております。これらの施策は、「かっぱの改新」と題して店舗やホームページ等で告知をおこない、安全でおいしいとおお客様にご満足していただけるような品質重視の商品ブランドを再構築すべく、邁進しております。

なお、当第2四半期連結累計期間におきましては、あらたに3店舗を出店する一方、5店舗を閉鎖した結果、総店舗数は340店舗となりました。

海外におきましては、韓国で回転寿司店舗を7店舗運営しております。昨年9月の放射能汚染を理由とした日本水産物の輸入禁止の実施による風評被害の影響が想像以上に長引いたものの、一部店舗においてビュッフェスタイル方式へ転換などのあらたなサービスを導入し、既存店売上高の早期回復を目指しております。

以上の結果、回転寿司事業の売上高は403億12百万円(前年同四半期比7.2%減)、経常利益は7億40百万円(前年同四半期は経常損失1億6百万円)となりました。

〈バンダー事業〉

バンダー事業におきましては、コンビニエンスストアを中心とした寿司弁当、調理パン等の新規取引先の拡大及び既存店売上高の強化に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は31億5百万円(前年同四半期比53.0%減)、経常利益は1億69百万円(前年同四半期比46.0%減)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間末より、当社の連結子会社であったF. デリカップ株式会社及び株式会社ジャパンフレッシュを持分法適用会社に変更しております。上述の売上高の前年同期比増減率(53.0%減)、経常利益の前年同期比増減率(46.0%減)につきましては、同社を連結子会社から持分法適用会社に変更した影響が反映されたものであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産488億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億9百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が38億58百万円増加、未収入金が8億18百万円増加、投資有価証券が1億29百万円増加、有形固定資産が25億8百万円減少、未収消費税等が15億38百万円減少したことによるものであります。

負債の部は、335億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億75百万円増加いたしました。これは主に、長期リース債務が7億74百万円増加、買掛金が3億53百万円増加、未払費用が3億47百万円増加、短期借入金が4億85百万円減少、未払金が4億50百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は、152億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億85百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が11億81百万円減少、少数株主持分が2億71百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年4月8日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成26年10月10日)公表いたしました「第2四半期(累計)業績予想との差異、通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、前連結会計年度末において当社の連結子会社であったF.デリカップ株式会社及び株式会社ジャパンフレッシュは、支配力基準により実質的に支配していると認められなくなったため、第1四半期連結会計期間末より連結子会社から持分法適用会社に変更しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物付属設備を除く)以外の有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法について定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法を採用する方針に変更いたしました。

この変更は、前連結会計年度における多数の不採算店舗の退店を機に、有形固定資産の使用状況を検証した結果、今後は有形固定資産の長期安定的な稼働傾向が予測されるため、店舗運営コストと売上の対応の観点から、設備投資のコストを每期平均的に負担させることが会社の経済的実態を合理的に反映させることができると判断し、定額法に変更するものであります。

この変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益は298,810千円、経常利益は346,546千円増加し、税金等調整前四半期純損失は同額減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,622,381	6,480,992
売掛金	932,877	309,653
有価証券	500,000	—
商品及び製品	802,962	569,609
原材料及び貯蔵品	348,066	345,094
繰延税金資産	352,590	342,130
未収入金	210,956	1,029,764
未収消費税等	1,863,713	325,214
未収還付法人税等	181,777	—
その他	1,036,495	1,848,828
貸倒引当金	△166	△226
流動資産合計	8,851,654	11,251,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,548,287	37,504,456
機械装置及び運搬具	4,819,606	3,936,452
工具、器具及び備品	4,077,435	4,034,517
土地	3,955,239	3,520,458
リース資産	6,445,228	7,013,617
建設仮勘定	91,211	—
減価償却累計額	△29,111,000	△28,692,034
有形固定資産合計	29,826,008	27,317,468
無形固定資産	267,905	194,061
投資その他の資産		
投資有価証券	1,649,750	1,779,002
繰延税金資産	97,757	6,841
敷金及び保証金	7,707,290	7,318,481
その他	1,270,452	991,926
貸倒引当金	△19,222	△16,953
投資その他の資産合計	10,706,028	10,079,298
固定資産合計	40,799,943	37,590,829
資産合計	49,651,598	48,841,891

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,111,815	3,465,383
短期借入金	1,352,459	867,459
1年内返済予定の長期借入金	7,065,179	6,586,556
リース債務	1,420,529	1,317,721
未払法人税等	166,734	142,452
賞与引当金	383,260	551,469
株主優待引当金	241,410	202,702
未払金	1,215,639	765,387
未払費用	1,738,135	2,086,019
未払消費税等	759,728	628,161
その他	324,606	350,616
流動負債合計	17,779,499	16,963,929
固定負債		
長期借入金	10,905,805	11,537,852
リース債務	1,827,480	2,601,587
繰延税金負債	165,193	182,913
退職給付引当金	1,093,229	1,019,333
資産除去債務	1,048,439	1,125,228
長期預り保証金	149,204	151,300
その他	39,440	1,821
固定負債合計	15,228,792	16,620,036
負債合計	33,008,292	33,583,966
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,551,570	9,551,570
資本剰余金	8,741,494	8,758,456
利益剰余金	4,113,483	2,931,533
自己株式	△6,229,841	△6,158,817
株主資本合計	16,176,707	15,082,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,773	121,793
為替換算調整勘定	△7,595	△10,168
その他の包括利益累計額合計	108,178	111,624
新株予約権	86,477	63,558
少数株主持分	271,942	—
純資産合計	16,643,306	15,257,925
負債純資産合計	49,651,598	48,841,891

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	49,767,311	43,360,835
売上原価	22,693,513	18,983,820
売上総利益	27,073,797	24,377,014
販売費及び一般管理費	26,854,852	23,596,823
営業利益	218,944	780,191
営業外収益		
受取利息	47,180	44,189
持分法による投資利益	—	23,398
受取家賃	53,186	182,375
為替差益	18,674	51,323
雑収入	102,004	181,279
営業外収益合計	221,045	482,567
営業外費用		
支払利息	177,619	161,154
賃貸収入原価	41,167	170,125
雑損失	22,022	25,698
営業外費用合計	240,809	356,978
経常利益	199,180	905,780
特別利益		
固定資産売却益	—	13,561
特別利益合計	—	13,561
特別損失		
固定資産除却損	43,920	5,698
減損損失	2,173,355	1,794,093
店舗閉鎖損失	653,103	59,249
特別損失合計	2,870,378	1,859,042
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,671,198	△939,699
法人税、住民税及び事業税	134,674	210,316
法人税等調整額	57,206	△21,403
法人税等合計	191,881	188,912
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,863,079	△1,128,612
少数株主利益	80,730	53,338
四半期純損失(△)	△2,943,810	△1,181,950

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,863,079	△1,128,612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74,372	6,019
為替換算調整勘定	23,918	△3,216
その他の包括利益合計	98,290	2,803
四半期包括利益	△2,764,788	△1,125,808
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,850,487	△1,178,503
少数株主に係る四半期包括利益	85,698	52,695

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,671,198	△939,699
減価償却費	2,152,472	1,786,243
減損損失	2,173,355	1,794,093
店舗閉鎖損失	653,103	59,178
のれん償却額	11,148	8,587
貸倒引当金の増減額(△は減少)	54	△54
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,350	253,756
退職給付引当金の増減額(△は減少)	64,716	49,087
受取利息及び受取配当金	△60,867	△85,367
為替差損益(△は益)	△18,674	△51,200
支払利息	177,619	161,154
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△13,561
固定資産除却損	43,920	5,698
売上債権の増減額(△は増加)	△394,584	△208,266
たな卸資産の増減額(△は増加)	△365,613	129,851
仕入債務の増減額(△は減少)	1,218,164	1,192,503
未払費用の増減額(△は減少)	691,150	545,949
未収消費税等の増減額(△は増加)	△722,657	1,566,958
未払消費税等の増減額(△は減少)	△82,257	△105,020
その他	144,597	△603,590
小計	3,010,099	5,546,301
利息及び配当金の受取額	22,335	29,014
利息の支払額	△172,859	△133,734
リース料支払額	△68,519	△136,375
法人税等の支払額	△279,108	△154,801
法人税等の還付額	241,956	190,915
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,753,904	5,341,319
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,405,803	△812,382
有形固定資産の売却による収入	—	13,561
無形固定資産の取得による支出	△6,734	△30,758
固定資産の除却による支出	△46,377	△124,726
投資有価証券の取得による支出	△836,073	△44
敷金及び保証金の差入による支出	△187,795	△49,889
敷金及び保証金の回収による収入	77,439	109,461
定期預金の預入による支出	△6,002,601	—
定期預金の払戻による収入	5,600,000	100,000
有価証券の売却による収入	3,500,000	500,000
長期前払費用の取得による支出	△84,582	△17,145
その他	2,247	13,215
投資活動によるキャッシュ・フロー	609,719	△298,707

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△185,330
長期借入れによる収入	6,968,189	4,148,000
長期借入金の返済による支出	△5,273,972	△3,644,540
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△526,544	△454,988
自己株式の処分による収入	1,632,196	87,985
配当金の支払額	△5,921	△3,446
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,793,948	△52,319
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,464	△216
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,152,107	4,990,075
現金及び現金同等物の期首残高	3,709,774	2,619,384
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△1,131,467
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,861,882	6,477,992

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	回転寿司	バンダー	合計
売上高			
外部顧客への売上高	43,433,024	6,334,286	49,767,311
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	267,728	267,728
計	43,433,024	6,602,015	50,035,039
セグメント利益又は損失(△)	△106,944	313,274	206,330

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	206,330
のれんの償却額	△7,149
四半期連結損益計算書の経常利益	199,180

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報(固定資産に係る重要な減損損失)

「回転寿司」セグメントにおいて、閉店見込の資産グループについて、減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の当第2四半期連結累計期間における計上額は2,173,355千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	回転寿司	ベンダー	合計
売上高			
外部顧客への売上高	40,312,124	3,048,711	43,360,835
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	56,628	56,628
計	40,312,124	3,105,339	43,417,464
セグメント利益又は損失(△)	740,283	169,072	909,355

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	909,355
のれんの償却額	△3,574
四半期連結損益計算書の経常利益	905,780

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更等)の(有形固定資産の減価償却方法の変更)に記載のとおり、従来、当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法は主に定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。この変更により、従来の方法に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が「回転寿司」セグメント328,022千円、「ベンダー」セグメントで18,523千円それぞれ増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「回転寿司」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,794,093千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。